

1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年7月22日

【評価実施概要】

事業所番号	2872500356
法人名	社会福祉法人すみれ福祉会
事業所名	社すみれホーム
所在地	兵庫県加東市藤田字東山944-27 (電話) 0795-43-0222

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号
訪問調査日	平成21年6月16日
評価結果確定日	平成21年8月12日

【情報提供票より】 (21年5月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 12 月 1 日
ユニット数	1ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	7 人
常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	1階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,720 円	その他の経費(月額)	128260 ~ 18400 円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,480 円		

(4) 利用者の概要 (5月25日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2		7名	
要介護3	1名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85歳	最低	78歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	加東市民病院
---------	--------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

ご利用者が自然豊かな居心地の良い環境の中で生き生きと輝き、暮らし続けることを目標として、認知症高齢者の尊厳と自己選択・自己決定を尊重した細やかな支援が行われている。、近隣住民の方・ボランティア・小学生等、地域との交流も定着している。落ち着いた建物の中のリビングは明るく各テーブルに季節の花が活けられ、安心して過せる共有空間があり、広い部屋の窓際にソファを置き一人一人思い思いにくつろぐことが出来るような配慮が見られる。職員は、ご利用者がその人らしく暮らし過ぎていけるように、日々、ご利用者の意向・要望を汲み取り一人ひとりの気持ちに寄り添う支援が行われている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	月に2回の勉強会その中で、評価結果を検討し改善に向け努力している。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 今年度の自己評価はスタッフ全体で取り組み業務の振返りをを行った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	運営推進会議は地域包括主任介護支援専門員・民生委員・居宅介護事業所・家族代表・利用者代表等の参加により2ヶ月に1回実施している。会議の内容は、利用者の状況報告し、参加者からの意見をサービスの質向上に反映させている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	家族訪問時には直接詳細に状況報告を行い、毎月のホーム便りにもご利用者の身体状況・生活状況を知らせている。年に3回程度家族会を開いており、連携は密にとれている。毎年3月に事業報告を行っており、家族面会時に法人に関することも含め、全体的なことを報告している。訪問時・家族会において意見、要望等について話しあいサービスに反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	地域の地区委員・民生委員とも交流が図られており、地域行事の「社町まつり」「とんど」には参加しており、施設の夏祭りには食事を作って地元の方々を招待している。学校のボランティア部とも付き合いがある。

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域との交流」を盛り込んだ法人理念を玄関に掲示しており、本人、家族にも入居時に説明している。月1回発行される広報誌にも理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務所・玄関に掲示すると共に、管理者は常に理念を説明し理念に基づいたケアの実践を図っている。また、カンファレンス用紙の様式にも理念は記入されており、職員の意識づけにもなっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の地区委員・民生委員とも交流が図られており、地域行事の「社町まつり」「とんど」には参加しており、施設の夏祭りには食事を作って地元の方々を招待している。学校のボランティア部とも付き合いがある。		

第三者 自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
4 7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>月に2回の勉強会の中で、評価結果を検討し改善に向け努力している。今年度の自己評価はスタッフ全体で取り組み業務の振返りを行った。</p>		
5 8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は地域包括主任介護支援専門員・民生委員・居宅介護事業所・家族代表・利用者代表等の参加により2ヶ月に1回実施している。会議の内容は、利用者の状況報告し、参加者からの意見をサービスの質向上に反映させている。</p>		
6 9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村との連携は運営推進会議を通じて施設の相談・連絡を取り合っており、市主催の「福祉まつり」にも参加している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせて報告をしている</p>	<p>家族の訪問時には直接、ご利用者の状況を詳細に報告をしている。毎月のホーム便りにもご利用者の身体状況・生活状況を記載し知らせしている。年に3回程度家族会を開いており、連携は密にとれている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎年3月に事業報告を行っており、家族面会時に法人に関することも含め、全体的なことを報告している。訪問時・家族会において意見、要望等について話しあいサービスに反映させている。</p>		
9	18	<p>有() 無</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>以前は若干異動があったが、スタッフの年齢層が広がりコミュニケーションも良好になり、ここ1年でスタッフの離職はない。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回のカンファレンスに研修を組み込み段階的に実施できるよう努めている。リーダー研修や実践者研修に参加し、サービスの向上に活かしている。</p>		<p>職員の経験・習熟度に合わせて働きながら研修を受講できる体制の充実を期待する</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内3箇所のグループホーム間で、情報交換を行い交流の機会を持っている。職員同士でもお互いの交流により各施設の意欲向上に活かされている。</p>		
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>時間をかけてゆっくりと馴染んでもらうことを心がけている。担当ケアマネと連絡をとり、ホームでの生活を体験してもらうことでお互いの関係を深めるよう努めている。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>地域的に畑仕事に従事していた方が多く、仕事をしたいと意欲のあるご利用者には、一人ひとりの状態を確認しながら、力量に合わせた畑仕事や食事作り・手芸を職員と共に行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用前に本人の生活スタイルは家族から事前に把握し、可能な限りご利用者の意向をを尊重しようと努めている。普段の生活の中で役割意識を持ってもらえるよう担当の職員が希望や意識を確認しながら接している。</p>		
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時のご利用者・家族から聴取した内容をケア計画に盛り込んでいる。認知症の特性には十分配慮し、ご利用者・家族の思いを大切にしながら計画の立案に努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1ヶ月に1回、介護計画に目を通しご利用者の変化・家族の要望を踏まえ6ヶ月ごとに継続的に見直しを行っている。9人の担当制を敷いており、必要があれば随時対応している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の希望に応じた個別の買い物・散歩・通院の支援を柔軟に行なっている。医療連携体制を活かしご利用者の健康管理を充実させている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>公立病院との連携・医療連携体制によりご利用者の健康管理を行い入院の回避に努めている。随時に同法人の看護師の協力が得られる体制が整っている。毎週定期的に歯科医による往診もある。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>今までターミナルに対応した実績はない。ご家族から可能な限りグループホームでの看取りの希望はあるが、終末期対応についてはご家族・医療機関と話し合い今後の対応を検討していく予定である。</p>		<p>重度化や終末期に向けた事業所としての方針を明文化し、全職員が重度化や終末期に向けた支援方針の統一を図る事が望ましい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日々のケアの中で、ご利用者一人ひとりのプライバシーを尊重し、誇りを傷つけないように配慮した言葉かけや対応を心掛けている。また、個人情報については保護に努め、職員にも意識づけがなされるよう研修等での周知徹底を行っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご利用者の高齢化に伴い機能低下が見られる中で、基本的なスケジュールを基に、日々の身体的状況や意向を重視し、その人らしい暮らしの支援に努めている。ご利用者一人ひとりのペースを尊重した、穏やかな雰囲気が感じられる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	併設施設から配食されるが、毎朝食はホームで手作りしている。また、昼食は週2回、月に一度はご利用者とともに希望の料理・おやつ作りを行い食事に変化をもたせている。盛り付け・後片付けは個人の力量を考慮した上で自発的におこなっている。		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	2日に1回のペースで入浴しているが希望があれば回数を増やすことも可能であり、好みの時間帯にゆっくりと入浴できるようになっている。職員は安全確保やプライバシーについても配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	利用者の希望や要望に合わせた日々のスケジュールにより、散歩・買い物・ドライブ等を盛り込み気晴らし楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	緑豊かな自然に恵まれた環境にあり、ご利用者は毎日散歩を楽しんでいる。ご利用者の希望・気候・天候に合わせてドライブ・買い物等外出の機会を頻繁に持っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	可能な限り鍵はかけないよう支援している。昼間玄関は開放されており、夕方は安全のためやむなく鍵をかけている。室内から周辺の田畑が見渡せ開放感が感じられる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練は定期的に行っている。また、マニュアルに添ってご利用者とともに、施設独自で避難訓練も行っている。運営推進会議の中で避難訓練や災害対策について協力は呼びかけている。備蓄については施設全体で対応可能である。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量と水分量は毎日チェック表に記録している。管理栄養士の協力も得られ適切なアドバイスがつけられる体制がある。体重の計測も定期的に行っており健康管理も行き届いている。		

第三者 自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり</p>				
29	<p>81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関の周辺には季節の花が植え込まれ家庭的な感じで誰もが訪れやすい雰囲気がある。リビングは明るく各テーブルに活けられた花から季節感が感じられ、安心して過せる共有空間である。広い部屋の窓際にソファを置き少人数や一人でもでくつろぐことができるよう配慮されている。</p>		
30	<p>83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には、ベットと筆筒が備え付けられており、ご利用者が慣れ親しんだ道具を持ち込まれゆっくりと安心して過せる居室作りが出来る。</p>		

 は、重点項目。